



中部家保だより



発行：中部農業事務所家畜保健衛生課（中部家畜保健衛生所）

〒371-0051 前橋市上細井町 2142-1 電話 (027) 288-0371 FAX (027) 230-8052

【 記 事 】

- 1 25/26 シーズンにおける高病原性鳥インフルエンザの発生に係る疫学調査報告書について
- 2 鳥インフルエンザシーズン前の9月にもう一度確認を!!
- 3 大臣指定地域について
- 4 入気口フィルターや細霧装置による塵埃対策を!!
- 5 電子指示書システム操作講習会について
- 6 降雨による家畜排せつ物の流出防止のお願い

【 添付資料 】

- 1 令和8年度電子指示書システム操作講習会

◆25/26シーズンにおける高病原性鳥インフルエンザの発生に係る疫学調査報告書について◆

昨シーズン（2025/26 シーズン）の高病原性鳥インフルエンザは、全国 16 道府県で 24 事例発生し、約 576 万羽が殺処分の対象となりました。発生は 10 月から 4 月まで続き、特定の地域だけでなく全国で発生が確認されました。国内での発生は 6 シーズン連続となり、近年の世界各地での HPAI の発生状況等を考慮すると、2026/27 シーズンも国内に HPAI ウイルスが侵入する可能性が高いと考えられます。

25/26 シーズンの疫学調査では、飼養衛生管理の不遵守事項として以下の点が挙げられました。

注意

- ・ 衛生管理区域内への入場時の、作業着及び長靴の交換等の不徹底。
- ・ 除糞作業等で使用する**裏口**で、家きん舎外で使った靴のまま家きん舎に立ち入る事例。
- ・ 家きん舎や関連施設における防鳥ネットの破損、壁面や開口部の隙間など、野生動物の侵入防止対策の不備。



飼料配合舎内のネコ



野生動物による食害



除糞ベルト下のネズミ死体

農林水産省ホームページ 発生時に疫学調査チームが撮影した写真より

飼養衛生管理基準遵守の確認のため行わせて頂いている立入調査では、公道を跨いでの飼養衛生管理区域の移動において更衣及び長靴の交換が不十分なケースや、鶏舎の壁および防鳥ネットの破損等が見受けられます。

今年もウイルスが農場へ侵入するリスクは高いと考えられる中、今後の発生予防とまん延防止に向けて、次の提言が示されました。

発生予防対策 ～疫学調査チームの提言より～

早期発見・早期通報の徹底

シーズン中は毎日の健康観察を注意深く実施。

少しでも様子が異なるときは躊躇せず家保へ連絡。

誘導換羽中でも誘導換羽の影響と即断しない。

鶏舎へのウイルス侵入対策

衛生管理区域に入る際は、必ず作業着や長靴の交換、手指消毒を行う。
更衣・消毒は交差のない動線で実施。
境界線は明確に。

作業従事者のほか、
外部事業者の指導・対策を徹底。

野生動物対策

堆肥舎などへの防鳥ネットの設置。
農場内の整理・整頓。
農場周辺の草刈りやため池の水抜き・テグスの設置。

一見隙間のなさそうな家きん舎でも壁面やクーリングパッドの隙間など入念に**侵入口を点検**。

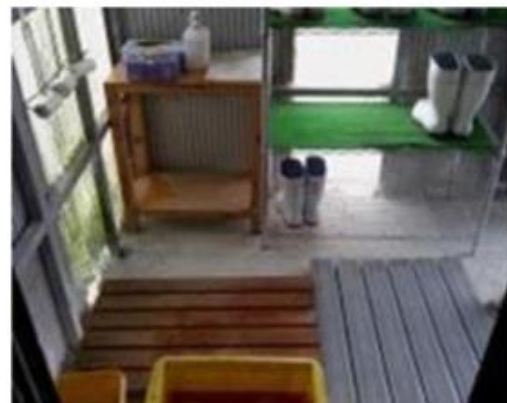
入気口の対策

入気口へのフィルターや不織布の設置、細霧装置による消毒薬の噴霧等の対策の検討。

少なくともシーズン中は、**塵埃によるウイルス侵入対策**を検討。



ケージ内でまとまって死亡



鶏舎の隙間



◆鳥インフルエンザシーズン前の9月にもう一度確認を!!◆

鳥インフルエンザ対策において最も重要なのは、鶏舎内へのウイルス侵入を防ぐことです。入退場の動線が交わらない動線の再確認、鶏舎入口での外用長靴から内用長靴等への履き替えの徹底、そして入場手順を鶏舎に入る全員が統一して実施できるようルール周知徹底を行い、鶏舎入口からのウイルスの侵入を防ぎましょう。

★すのこを用いた履き替えの実施例



- ① 外専用の履物は入口まで ② 外履きを脱いで、すのこに上がる ③ 鶏舎専用の長靴をはく
- 環境中にはウイルスが常に存在すると考え、衛生管理区域及び鶏舎を出入りする際は、専用靴への履き替えを徹底しましょう。

参考「外用靴の保管方法」

鶏舎に前室を作り、前室内で靴の履き替えが出来るのが理想です。しかし、前室がなく、履き替えを行う鶏舎出入口に屋根が無い場合は、外に置いておく靴が雨で濡れないように対策を行う必要があります。この場合、以下のような保管方法があります。

- 出入口の外に蓋つきの収納ボックスを置く
- 鶏舎の壁に収納棚を置く・取り付ける



ミニ知識～なぜ何回も着替え・履き替えして、何回も消毒するの?～

ここに、99.9%のウイルスを除去できる消毒薬があるとします。しかし、実際にウイルスを消毒薬で99.9%除去するためには、**きれいな消毒薬に5分以上漬け込む等**の条件が必要で、畜産現場で実行するには難しい状況です。また、靴の溝など、消毒薬が届きにくい部分を完全に消毒するのは困難です。

鳥インフルエンザウイルスの野外株を鶏に感染実験した結果、鶏の感染には約**3万個**のウイルスが必要であったという報告があり、鶏舎内に入るウイルスを**3万個未満**まで減らせれば、感染を防げる可能性があります。そのため、何度も着替え・履き替えをして鶏舎内に持ち込むウイルスをなるべく減らし、ダメ押しで何度も消毒するよう定められています。



◆大臣指定地域における事前準備について◆

これまでの国内の家きんでの発生では、過去発生した農場での再発生事例や、同じ地域での連続発生事例がありました。過去に発生があった農場およびその周囲農場、家きん飼養農場が密集する地域については、本病が発生しやすい環境要因があり、他の地域と比較して発生リスクが高いです。こうした発生リスクの高い地域について令和8年1月1日付で、国から大臣指定地域として指定されています。大臣指定地域においては、家きん舎周辺の消毒に十分な量の消毒薬を確保するとともに、適切な塵埃対策の事前準備をシーズン前に完了させてください。

大臣指定地域については農林水産省のHPにて掲載されています。

右のQRコードからご確認ください。

また、今後、発生状況に応じ見直しが行われる予定です。

鶏等の飼養衛生管理基準の項7（家畜伝染病の発生リスクの高まりに対する準備）における農林水産大臣が指定する地域

（令和7年12月25日農林水産省告示第1969号）



大臣指定地域内における地域内での発生に備えた準備や野鳥誘引対策の取組

（施行日：令和8年1月1日）

【地域内での発生に備えた準備】

指定地域内で高病原性鳥インフルエンザが発生した場合には消毒命令が出るため、速やかに消毒薬の散布や塵埃対策が行えるよう備えておく必要があります。

- ✓最低限1回家きん舎周囲に動力噴霧器等で消毒薬を散布するのに必要な量を備蓄
- ✓塵埃対策に必要なフィルタや不織布、液状消毒薬等の資材備蓄および施工可能な外部事業者の選定

【野鳥誘引対策】

- ✓農場内に野鳥が飛来してくる場所の把握
- ✓農場への飛来防止のため、テグスや鳥よけの設置、追い払いなどの対策の実施
- ✓飛来要因が農場内にないか確認



家畜の所有者

- ・周辺の林からカラスを追い払うことが必要。
- ・ため池に飛来するかも誘因防止が必要。

◆入気口フィルターや細霧装置による塵埃対策を!!◆

飼養衛生管理基準において、R8年10月1日より大規模農場のウインドレス鶏舎では塵埃対策を講じることが必要になります。鶏舎の構造や農場に合わせた対策の実施をお願いいたします。

対策場所	実施内容例
入気口対策	入気口フィルターや細霧装置の設置
	風向きを考慮した入気口の閉鎖
鶏舎内対策	細霧装置による鶏舎内の塵埃発生抑制
農場外対策	鶏舎周辺の散水や消毒液の散布

「環境中のウイルス濃度を下げる」「換気口から入れない」「鶏舎内で減らす」の3段階対策が重要です。

◆電子指示書システム操作講習会について◆

農林水産省では、獣医師が発行する要指示医薬品の指示書を電子化し、獣医師・生産者・販売店の間で行われる指示書の発行・受領、医薬品の販売、使用記録の管理までをシステム上で一元的に実施できるシステムを構築しました。

今後の本格的な運用に向けて、電子指示書システム操作講習会の案内がありましたので、是非参加して頂きたいをお願いします。詳細は、添付資料をご覧ください。

◆降雨による家畜排せつ物の流出防止のお願い◆

近年は気候変動の進行に伴い、局所的大雨や猛烈な雨の発生頻度が増加しており、家畜排せつ物や堆肥が隣接地や道路、河川等に流出することで周囲に迷惑をかけることが心配されます。問題が発生しないよう以下の点に注意をお願いします。

- ・畜舎、堆肥舎の点検・補修

雨水が侵入しないよう、屋根や側壁の破損、劣化を確認しましょう。

また、必要に応じ、施設周囲の側溝や防水パネル等の設置をしましょう。

- ・ほ場に搬出した堆肥への措置

ほ場外への流出を防ぐため、速やかに耕うんしましょう。

- ・堆肥在庫の管理

年間を通じて安定的な堆肥の販売先を確保し、在庫過多を防ぎましょう。

そのために良質な堆肥を生産しましょう。

家畜保健衛生所は**365日24時間対応**の緊急連絡体制を確保しています。

緊急時にはご連絡ください。

中部家保 ☎ **027-288-0371**

★ 畜産業を廃業された方にこの「中部家保だより」が送付された場合は、誠にお手数ですが、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。